



香曾我部義則先生の今月のカルテ ④7

慢性痛とペインクリニック

■プロフィール こうそがべ・よしのり 昭和54年に岡山大学医学部卒業後、同大学麻酔科・蘇生科講師、岡山労災病院麻酔科第一部長に。平成16年から現職。日本麻酔学会専門医。日本ペインクリニック学会認定医。現在日本麻酔学会、日本ペインクリニック学会、日本慢性疼痛学会、国際疼痛学会などに所属

梶木病院麻酔科・ペインクリニック科の香曾我部義則先生が、痛みの治療について分かりやすく説明してくれるコラム。今回は、男性に好発する間欠跛行について説明します。

歩くと痛みやしびれを感じる…間欠跛行では？

原因は、脊柱管狭窄症と閉塞性動脈硬化症

歩き始めはなんともないのにしばらくすると下肢に痛みが出て、次第にしびれを伴い歩けなくなり、少し休息すれば再び歩けるようになる…このような症状を間欠跛行（かんけつはこう）といいます。

歩き始めはなんともないのにしばらくすると下肢に痛みが出て、次第にしびれを伴い歩けなくなり、少し休息すれば再び歩けるようになる…このように症状を間欠跛行（かんけつはこう）といいます。

跛行とは足を引きずって歩くことを意味し、原因は主に2つあります。一番多い原因疾患は脊柱管狭窄症です（平成16年6月26日号で紹介）。腰椎（ようついでい・背骨）の中心にある脊柱管という神経の束を通す穴が主に老化による骨の変形のため狭くなる病気で、そのため神経が圧迫され痛みとしびれを起すので「神経性跛行」と言います。

跛行とは足を引きずって歩くことを意味し、原因は主に2つあります。一番多い原因疾患は脊柱管狭窄症です（平成16年6月26日号で紹介）。腰椎（ようついでい・背骨）の中心にある脊柱管という神経の束を通す穴が主に老化による骨の変形のため狭くなる病気で、そのため神経が圧迫され痛みとしびれを起すので「神経性跛行」と言います。

跛行とは足を引きずって歩くことを意味し、原因は主に2つあります。一番多い原因疾患は脊柱管狭窄症です（平成16年6月26日号で紹介）。腰椎（ようついでい・背骨）の中心にある脊柱管という神経の束を通す穴が主に老化による骨の変形のため狭くなる病気で、そのため神経が圧迫され痛みとしびれを起すので「神経性跛行」と言います。

跛行とは足を引きずって歩くことを意味し、原因は主に2つあります。一番多い原因疾患は脊柱管狭窄症です（平成16年6月26日号で紹介）。腰椎（ようついでい・背骨）の中心にある脊柱管という神経の束を通す穴が主に老化による骨の変形のため狭くなる病気で、そのため神経が圧迫され痛みとしびれを起すので「神経性跛行」と言います。

跛行とは足を引きずって歩くことを意味し、原因は主に2つあります。一番多い原因疾患は脊柱管狭窄症です（平成16年6月26日号で紹介）。腰椎（ようついでい・背骨）の中心にある脊柱管という神経の束を通す穴が主に老化による骨の変形のため狭くなる病気で、そのため神経が圧迫され痛みとしびれを起すので「神経性跛行」と言います。

跛行とは足を引きずって歩くことを意味し、原因は主に2つあります。一番多い原因疾患は脊柱管狭窄症です（平成16年6月26日号で紹介）。腰椎（ようついでい・背骨）の中心にある脊柱管という神経の束を通す穴が主に老化による骨の変形のため狭くなる病気で、そのため神経が圧迫され痛みとしびれを起すので「神経性跛行」と言います。

併することが多いため注意が必要です。食生活や生活様式の欧米化と高齢化社会を迎え、年々増加しています。

2つ目は、閉塞性血栓性血管炎（TAO）で原因は不明です。四肢の小さな動脈の血栓性血管炎を生じ、40歳代以下の男性に好発し、喫煙が最大の危険因子です。跛行よりは潰瘍（かいよう）や壊死（えし）を生じることが多く、痛みが強い傾向があります。

跛行を生じる病気の鑑別は症状から推測できませんが、両方を合併している患者さんもあります。歩く痛みやしびれを生じる方はまずは整形外科やペインクリニックを受診されることをお勧めします。次回は治療法について説明する予定です。

跛行を生じる病気の鑑別は症状から推測できませんが、両方を合併している患者さんもあります。歩く痛みやしびれを生じる方はまずは整形外科やペインクリニックを受診されることをお勧めします。次回は治療法について説明する予定です。

跛行を生じる病気の鑑別は症状から推測できませんが、両方を合併している患者さんもあります。歩く痛みやしびれを生じる方はまずは整形外科やペインクリニックを受診されることをお勧めします。次回は治療法について説明する予定です。

跛行を生じる病気の鑑別は症状から推測できませんが、両方を合併している患者さんもあります。歩く痛みやしびれを生じる方はまずは整形外科やペインクリニックを受診されることをお勧めします。次回は治療法について説明する予定です。

跛行を生じる病気の鑑別は症状から推測できませんが、両方を合併している患者さんもあります。歩く痛みやしびれを生じる方はまずは整形外科やペインクリニックを受診されることをお勧めします。次回は治療法について説明する予定です。

跛行を生じる病気の鑑別は症状から推測できませんが、両方を合併している患者さんもあります。歩く痛みやしびれを生じる方はまずは整形外科やペインクリニックを受診されることをお勧めします。次回は治療法について説明する予定です。

梶木病院(西花尻) 0200-333519